

DDW-Japan 2004 アンケート調査報告

DDW-Japan 2004(日本消化器関連学会週間)福岡は、5学会参加での開催となりました。各学会長の先生方、運営委員の先生方、および各学会の事務局をはじめとする多くの関係各位のご尽力のお蔭を持ちまして、過去に類を見ない14,098名の参加者をお迎えし、盛会裏のうちに学会を終了することが出来ました。

今回も例年同様アンケート調査には、多数の参加者各位より貴重なご意見を頂戴いたしました。DDW-Japan 2004 全体については、80%以上の参加者が普通以上の満足度を示しております。また、現行のDDW方式については、90%の方々より続行すべきのご意見を頂戴しております。主題数等については50%が適切とご回答いただいております。しかし、多い、やや多いとの回答が30%に達するなど、今後の検討課題であると思われます。

今後より良いDDW-Japanとすべく、各学会で連携を密にし、最善の努力を図って参りたいと考えております。参加者各位より一層のご意見、ご教示を賜りますようお願いいたします。

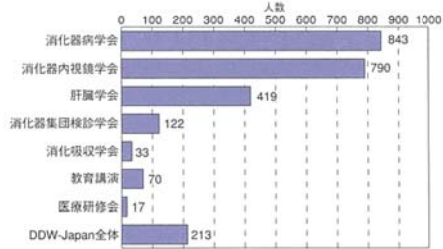
DDW-Japan 2004 運営委員会

- 第46回 日本消化器病学会大会
会長 沖田 極 (山口大学医学部先端分子応用医学講座消化器病内科学)
- 第68回 日本消化器内視鏡学会総会
会長 幕内 博康 (東海大学医学部外科系消化器外科学)
- 第8回 日本肝臓学会大会
会長 清澤 研道 (信州大学医学部医学科内科学講座)
- 第42回 日本消化器集団検診学会大会
会長 今村 満子 (横浜市立市民病院がん検診センター)
- 第35回 日本消化器呼吸学会総会
会長 大槻 眞 (産業医科大学医学部第3内科)

はじめに

DDW-Japan 2004 (日本消化器関連学会週間)は2004年10月21日(木)から24日(日)までの4日間にわたり、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会、日本肝臓学会、日本消化器集団検診学会、日本消化器呼吸学会の5学会が参加し、福岡国際会議場、福岡サンパレス、マリンメッセ福岡にて開催された。参加者は14,098人となり、前回(14,072人)より若干名増加し、昨年に引き続き人気の高さを維持していた。今回も、参加者の意見を聞き今後の学会運営の参考にするために16項目のアンケート調査を行い、1,310人より回答を得た。回収率は約1割であったが、問題点などの分析には役立つ結果であった。

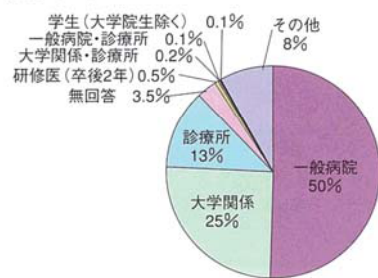
【図1】今回、どの学会を目的で参加されましたか(複数回答可)



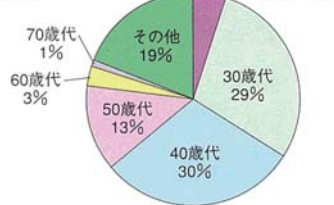
回答者の背景

大学関係 (333人 25%)、一般病院 (649人 50%)、診療所 (166人 13%) で、年齢は20~30歳代が34%、40~50歳代が43%を占めていた。時間的余裕のない一般病院的30歳から40歳代の若手の医師の参加が多かったものと推察できる。「参加目的の学会は?」との質問では、ほとんどが日本消化器病学会と日本内視鏡学会をあげているが、他学会に所属している医師も多いため「DDW-Japan 全体として参加した」との回答が多く得られるような企画を考慮する必要がある。全体的な意見の中にも「一般病院ですぐに取り込んでいける臨床に役立つ内容を求む」「複数の学会が担当する主題演題に参加した場合はそれぞれの学会の実績にしてほしい」「各学会ごとにうすく長期に散らした企画がほしい」などの貴重な意見があった。

【図2】カテゴリー



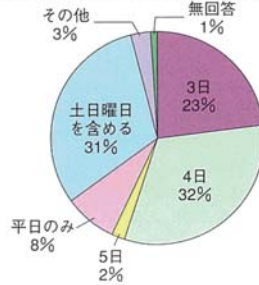
【図3】年齢



開催希望日数と曜日について

希望する学会日数は3日が39%、4日が56%で、4日支持が半数を超え、土曜日・日曜日の開催も53%が希望している。特に土曜日の開催には強い希望があるが、日曜日に関しては早めの終了、または午前中までにしてほしいとする意見が多かった。

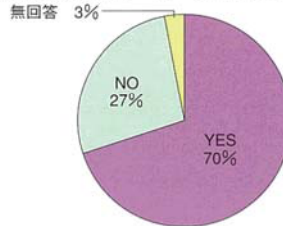
【図4】開催希望日数と曜日について (2004: 4日間)



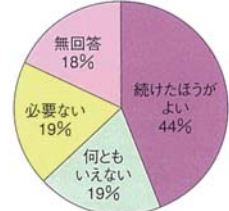
ホームページとCD-ROMについて

70%がホームページを利用しており、回答者の28%が発表者であったが、その操作性やアクセスに関しては特に大きな問題はないとしている。しかし、今学会の抄録が事前にホームページで検索できないことに対する不満の意見もあり、各学会ごとの抄録集を作成するのではなく DDW-Japan 全体としての抄録集をホームページでアクセスできるようにすることで、CD-ROM の配布は希望者のみでよいかもしれない。アンケート調査でも、配布を続けた方がよいは44%で、必要なし約20%あった。

【図5】DDW-Japan 2004のホームページにアクセスしましたか?



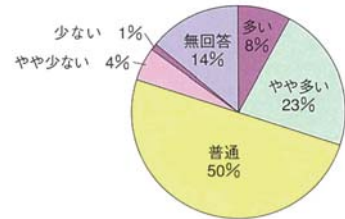
【図6】DDW-Japanホームページより過去の抄録が検索可能ですが、CD-ROM抄録集の配布は



主題数について

シンポジウムやワークショップなどの主題数については、前回のスリム化の意見を参考にしたためか50%が適切と回答していた。しかし、まだ30%以上が、多い・やや多いとしているため、さらにスリム化を行ってもよいかもしれない。今回は特に、ランチョン、サテライトなどとの演題重なるの指摘が多かったため、一考を要する課題と思われる。

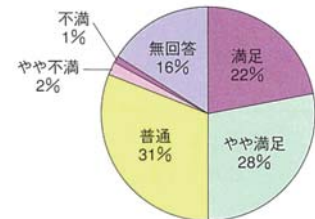
【図7】主題数について



コンピューター発表について

満足、やや満足を含めると50%になり、普通と答えた31%を含めると8割が肯定しており、わずか3%のみが不満を訴えていた。今後もコンピューターのみでの発表形式でよいと思われる。

【図8】コンピューター発表について

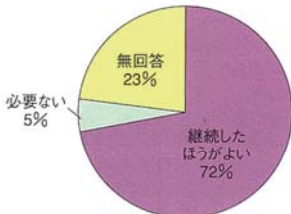


合同セッション、教育講演、医療研修について

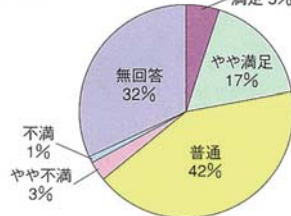
「続けたほうがよい」との回答は72%の支持があり、「必要ない」とした回答はわずか5%であった。教育講演については満足・やや満足と答えた人33%、普通が37%で合わせて7割は評価している。内容や今後のテーマについては、研修医や実地医家向けの基本的なテーマ、技術的なもの、個々の学会に共通する総合的テーマなどを希望する記載が多かった。各学会に限定されたものとせず、開催期間

中に適宜組み合わせた日程調整を行うことで、参加者のニーズに答えることが可能かもしれない。医療研修会についてもほぼ同様の反応で、普通以上の満足度は64%であった。

【図9】合同セッションについて



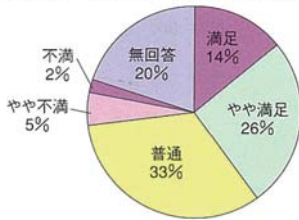
【図10】医療研修会について



【図11】ブレック・ランチョン・サテライトについて

満足・やや満足が40%、普通33%と合わせると73%がよいとしている。不満は7%と少なかったが、意見として、内容の偏り、ブレックの開催数が少なかったことなどがあげられていた。チケットの配布方法、コーヒーサービスなどに対する意見も多く、今後の課題と思われる。内容では画像や機器などに興味が多く、食事をしながら気軽に聞けるテーマの選択が望まれる。ポスター展示会場での開催の声もあった。弁当に関しては量や内容の軽いものを同時に用意することも必要であろう。

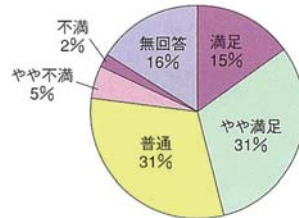
【図11】ブレック・ランチョン・サテライトについて



【図12】会場運営全般について

満足15%、やや満足31%で半数近くが満足している。普通31%を加えると77%が評価していた。不満としたものは7%であったが、不満の意見として圧倒的に多かったのは、シャトルバスの運行についてであり、今回は台風の影響、会場へのアクセスがよくないなどの理由が原因と思われる。また、会場が狭く立ち見が出たところも多かったが、椅子を増したり、テレビ放映をするなどの対応がよかったとの意見も寄せられていた。しかし、テーマをよく考慮した会場設定は、毎回指摘される話題である。

【図12】会場運営全般について

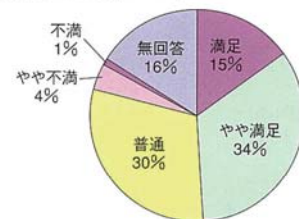


【図13】今回のDDW全体について、DDW方式、DDWに参加して欲しい学会について

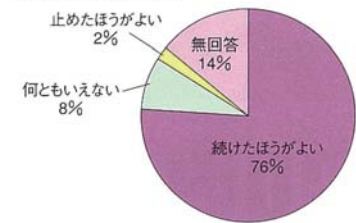
DDW 全体については、満足が15%、やや満足は34%で、普通30%を加えると8割の支持が得られている。また、DDW 方式についても無回答を除く回答者1,119人の9割近くが続行すべきと評価している。

しかし、参加してほしい学会については脾臓・胆道・消化器外科の希望があり、これらの所属学会員の多くは他の消化器関連病学会にも所属していると思われるため、今後、主題・教育講演・ランチョンなど DDW 企画としての幅広いテーマを選択する工夫をするべきであろう。

【図13】今回のDDW全体について



【図14】DDW方式について



【その他「全体的な意見」からのまとめ】

221件の意見があった。これまで述べてきた個々の項目についての意見と重なるものも多いが、半数以上はシャトルバスの運行に関する不満であった。特にホテル日航での待ち時間が長くなり、会場への到着が遅れた例も数件記載されていた。また、夕刻の時間帯の便数の増加およびサテライト後も運行を求める声が多かった。福岡国際会議場へのアクセスの悪さと会期前日の台風の影響もあったと思われるが、会場選びとバス運行には課題が残された。公共の交通機関の利用案内も、もう少し考慮すべきだったと思われる。

その他、会場が狭かった、見たい内容のものが同じ時間帯に重なっていた、会場でのフラッシュ撮影は禁止すべき、などの意見が比較的目立った。

しかし、DDW-Japan 2004 NEWS はよかったとの評もいくつかあり、さらに台風にもめげず無事開催されたことへのねぎらいも散見された。

以上アンケート結果の分析から、問題点は今後の課題として真摯に受け止め、可能なものから改善、解決の方針を立てていかなければならないと思うが、全体としては成功した学会であった印象を強く受けた。

アンケート調査にご協力いただき、貴重なご意見を多数お寄せいただきましたことを感謝いたします。

文責 DDW-Japan 2004 広報委員長 今村 清子

